

令和4年度 第3回 緩和ケアを学ぼう会 参加者アンケート結果

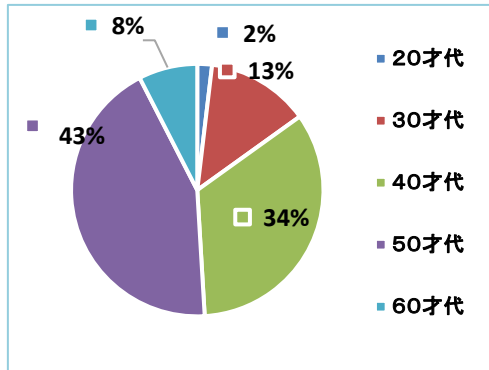
◆日時 令和5年3月6日(火) 18:30～
◆参加人数 74名

◆オンライン配信
◆アンケート協力者数 53名

- 1 ・ 事例・取り組み紹介
「ご本人様が望む最期を迎えることが出来た事例」
～医療・多職種連携からの気づき～
居宅介護支援センターであい 主任介護支援専門員 菅原 紀枝 氏
- ・ 「『看取り』と決めたその日から」
～ご本人、ご家族に寄り添う連携体制～
アメニティーハウスひまわり リーダー 奥泉 恵美 氏
サブリーダー 阿部 芳彦 氏
- 2 ・ 講義
「遺族ケアにつながる患者や家族に対するケア」
鶴岡市立荘内病院 緩和ケア認定看護師 阿部 美知子 氏

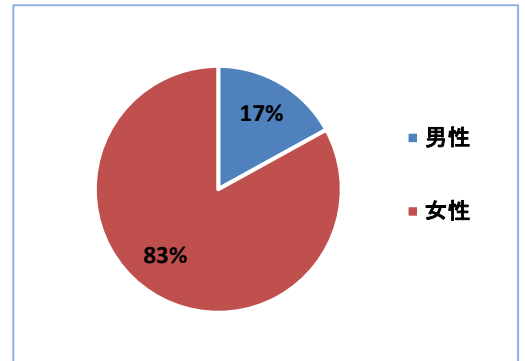
【年齢】

20才代	1
30才代	7
40才代	18
50才代	23
60才代	4
70才代	0
無回答	0
総計	53



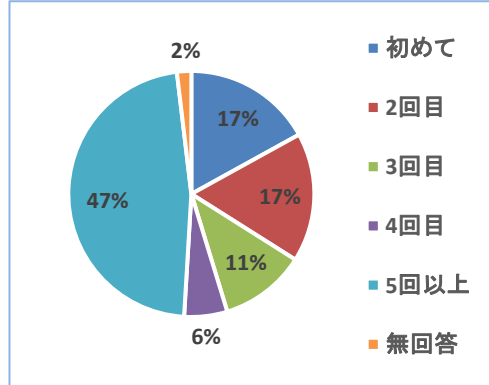
【性別】

男性	9
女性	44
無回答	0
総計	53



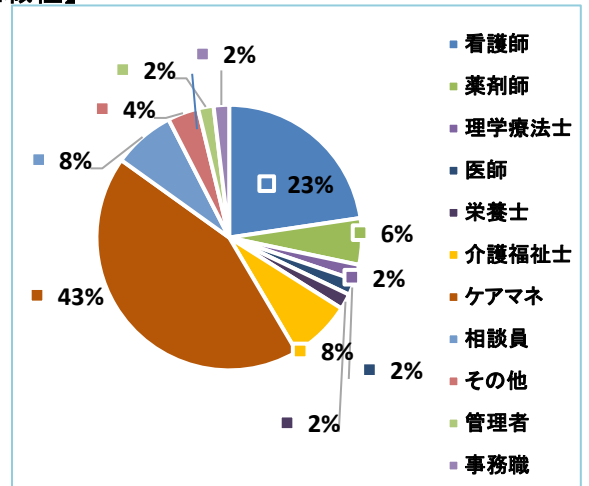
【参加回数】

初めて	9
2回目	9
3回目	6
4回目	3
5回以上	25
無回答	1
総計	53



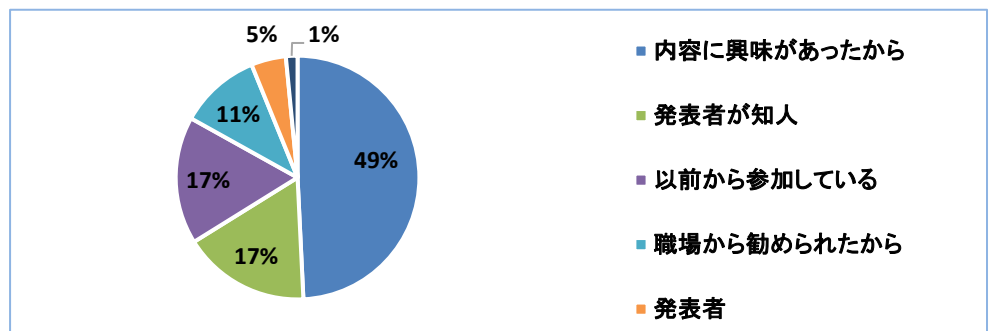
【参加者の主職種】

看護師	12
理学療法士	1
医師	1
栄養士	1
ケアマネ	23
相談員	4
薬剤師	3
管理者	1
事務職	1
介護福祉士	4
その他	2
総数	53



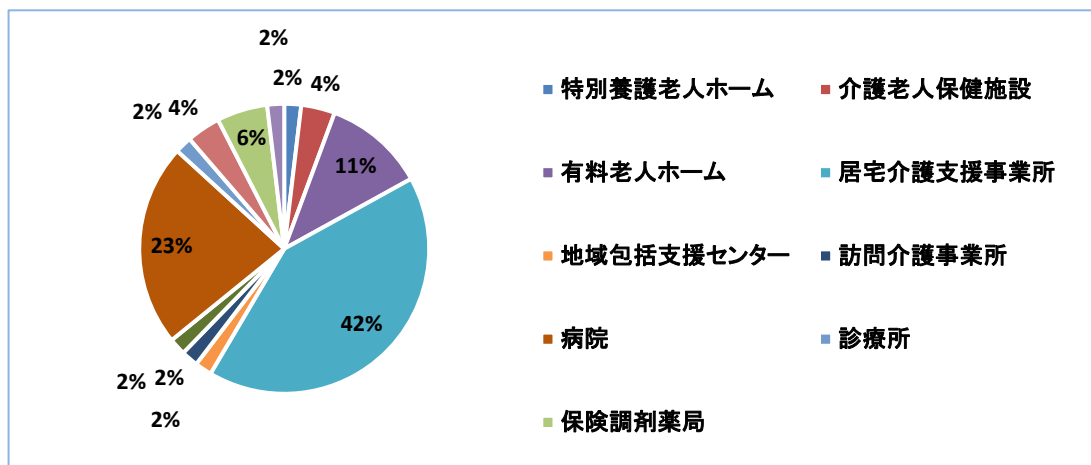
【参加した理由】(複数回答)

内容に興味があったから	32
発表者が知人	11
以前から参加している	11
職場から勧められたから	7
発表者	3
運営サポート	1



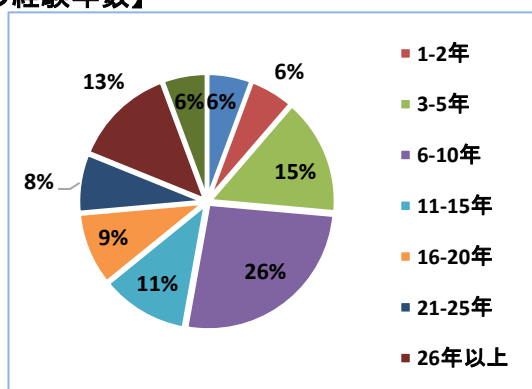
【勤務場所】

特別養護老人ホーム	1
介護老人保健施設	2
有料老人ホーム	6
居宅介護支援事業所	22
病院	12
訪問介護事業所	1
診療所	1
訪問看護ステーション	2
地域包括支援センター	1
通所介護事業所	1
保険調剤薬局	3
その他	1
総計	53



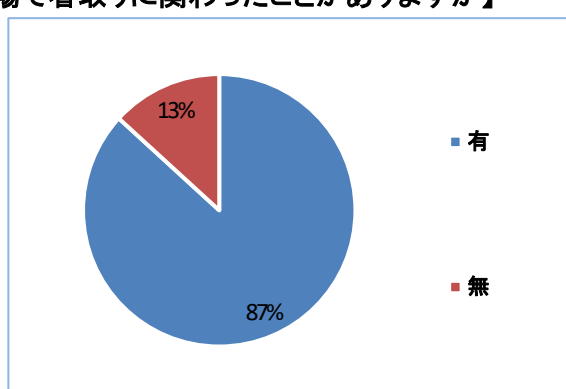
【現在の職業の経験年数】

0-1年	3
1-2年	3
3-5年	8
6-10年	14
11-15年	6
16-20年	5
21-25年	4
26年以	7
無回答	3
総計	53



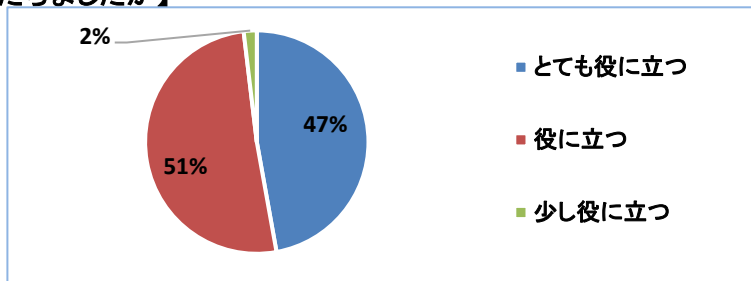
【今の職場で看取りに関わったことがありますか】

有	46
無	7
計	53



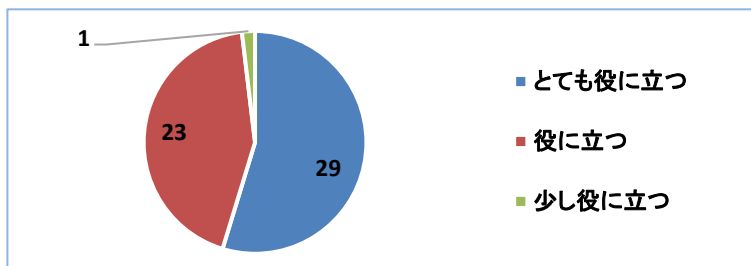
【この研修会は全体的に役に立ちましたか】

とても役に立つ	25
役に立つ	27
少し役に立つ	1
総計	53



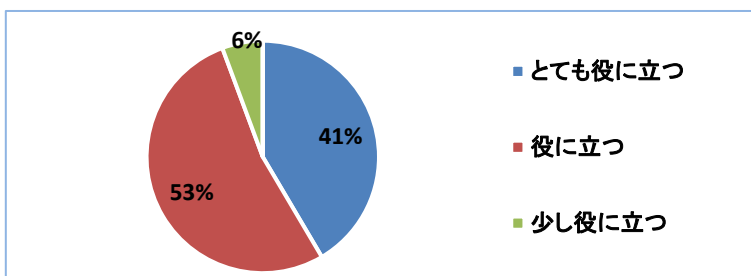
【事例1は役に立ちましたか】

とても役に立つ	29
役に立つ	23
少し役に立つ	1
総計	53



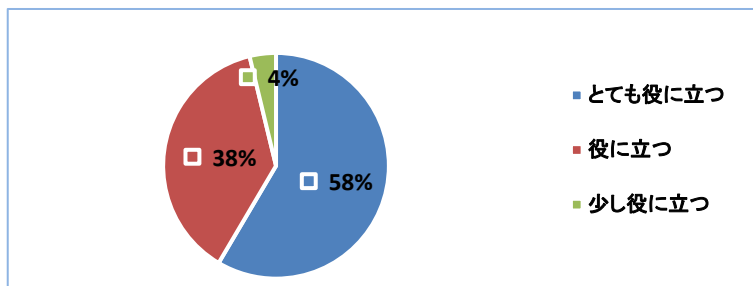
【事例2は役に立ちましたか】

とても役に立つ	22
役に立つ	28
少し役に立つ	3
総計	53

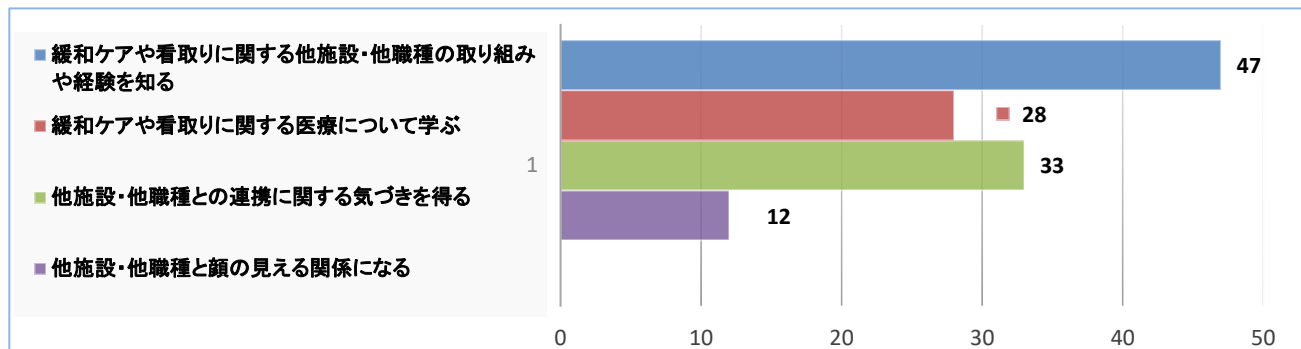


【講義は役に立ちましたか】

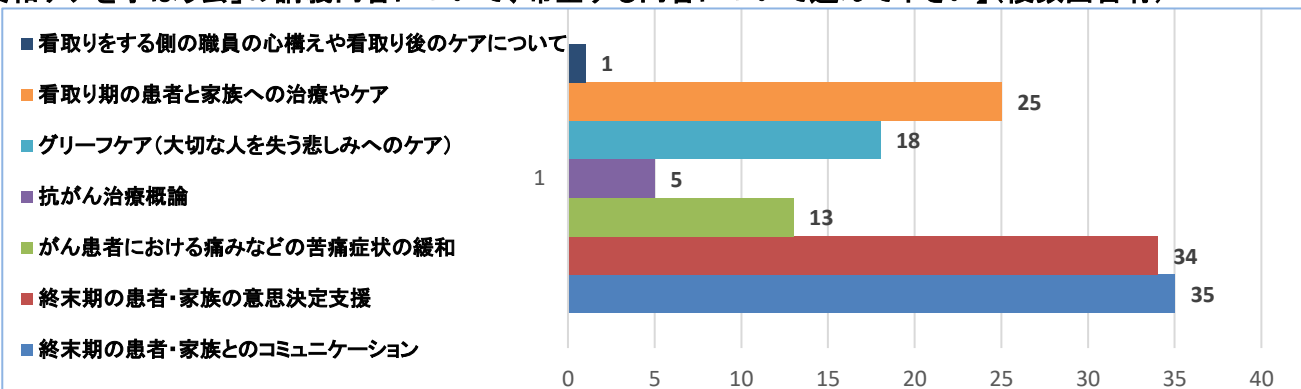
とても役に立つ	31
役に立つ	20
少し役に立つ	2
総計	53



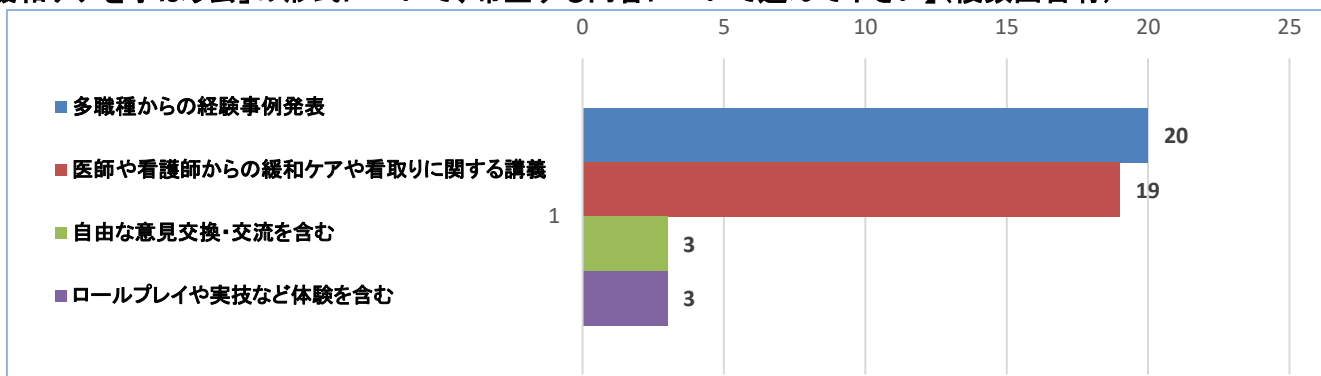
【「緩和ケアを学ぼう会」は、あなたにとってどのように役立つと思いますか？】(複数回答有)



【「緩和ケアを学ぼう会」の講義内容について、希望する内容について選んで下さい】(複数回答有)

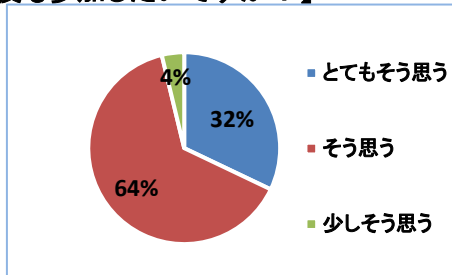


【「緩和ケアを学ぼう会」の形式について、希望する内容について選んで下さい】(複数回答有)



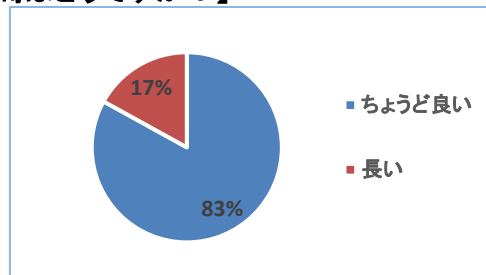
【この研修会に今後も参加したいですか？】

とてもそう思う	17
そう思う	34
少しそう思う	2
総計	53



【研修会の時間はどうですか？】

丁度良い	44
長い	9
総計	53



§ ご意見・ご感想など自由記述 §

- 施設でも看取りをしてくれる所が増えつつあるのだとわかった。
- どうしても自宅での介護が困難で入所するので、最期まで関わってくれる、看取ってくれる施設が増えてくれればいいと思う。
- 病院での看取りもまだ多いが、包括支援病棟で転院まで、本人、家族の思いを聞き、1日で在宅看取りへ変更することも時々している。
病棟では、看取りまでのセッティング、思いを聴くなどできるが、グリーフケアに関わる機会が少ないので、とても関心のもてる発表内容だった。ありがとうございました。
- 今回、発表者として関わらせていただいて、普段しているお客様との関わりを振り返る良い機会となりました。
- 「看取り」の一言で、その理解と受け入れってご家族の不安…どうしていったら良いのか…今の状態で何をしてあげたらいいのか…ご家族の思いを叶えるのが介護職としての悩みです。
- 毎回色々勉強になります。グリーフケアについて、もう少し勉強して、看取り後の支援を行えるようになりたいと思います。
- 看取りケアは、支援される側、支援する側、どちらにとっても身体的にも肉体的にもエネルギーが必要です。
どれだけ不安を解消できるか、どれだけ携わる人達の情報を密に連携できるか、人の命にかかわる福祉の仕事、同じ看取りはないけれど、これで良かったと思える後悔のない支援をしていきたいです。
- 看取りケアに携わってみて初めて色々な事を経験させて頂く事がたくさんありました。看取りケアを行っていても「これでいいのだろうか」とか考えてしまうことも多々あります。それでもその方なりの最期に後悔しない看取りケアをしていこうと改めて感じる事ができた会でした。ありがとうございました。
- 多施設・多職種の事例から経験を少しでも共有できるのは大変勉強になります。
グリーフケアについて専門的な講義をうけることができ充実した時間を持つことが出来ました。
- 事例については、多職種での関わり、施設においてのチームケアが素晴らしいと感じました。
- 看取り時の利用者、家族様、自分の不安の軽減につとめ、最期まで在宅で前向きに暮らしていただける様、今後もケア方法学んでいきたい。
- 他施設の看取りの関わりを学ぶことができました。今後の参考にしていきたいと思います。ありがとうございました。
- とても、勉強になりました。事業所での取組や医療機関との連携の仕方等分かりやすく参考になりました。講義についても、色々な場面での対応方法等勉強になりました。今後も楽しみにしております。ありがとうございました。
- 多職種連携、病院や診療所と地域の連携の大切さを改めて実感できました。話し合いながら同じ目標に向かって、互いに役割を果たすために大切なことだと思います。遺族への関わり方も勉強になりました。つらい気持ちを抱えた方が援助を求められる場があるとよいと感じています。
- アンケートを途中で誤送信してしまい、再送しています。看取りやグリーフへの向き合い方、心持ちについて、振り返り、考えるきっかけをいただきました。ありがとうございました。グリーフを表現できるような関係性を築けているかなと、ふと考えてしまいました。
- 死別ケアの講義だったが、思いを受け止めるとかジャッジしない等、日頃の業務や生活に活かせるようなことがあり、勉強になった。死後1年後に家族に連絡をとるのかどうする場合でしょうか？何か基準等はあるのでしょうか？
死後1年後に家族に連絡をとるのかどう場合でしょうか？何か基準等はあるのでしょうか？
- とても良い内容で勉強になりました。私は、この研修会で事例経験の共有も非常に大事だと考えています。発表者の顔が最初か最後にみれるのもっと良かったと思います。
- 終末期における本人や家族への寄り添いかた、声のかけ方など実際に行われた方法や注意すべき言葉など具体的に教えていただきとても参考になりました。
- 事例発表内容がまとまっていてとても聞きやすかった。医療との連携や家族の意思の反映等、参考になることが多々あった。自分ならどうするかを考えながら研修会に参加でき、有意義な時間となった。
- グリーフを抱えた人を支えるための重要なポイントを参考にすることと必要な資源につなげられる地域になりたいと思いました。
- 大変勉強になりました。関係者の方々、事例発表の方、講師の方、大変お疲れ様でした。
- 会を重ねてみると、連携するための相手を知りたいという気持ちに変化してきました。いつもありがとうございます。

